

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理法制3（企業・経済）		
担当教員	中村 良		
対象学年	1年,2年	開講学期	後期
曜日・時限	火 1		
講義室	1211	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	講義・コア		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1[意欲・経験・適性] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察（25%） DP2[学識・専門技能] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能（50%） DP3[思考力・判断力・表現力] 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力（25%）		
教員の実務経験	ありません。		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	危機管理の主体としての企業を理解するには、その原理としての営利取引、営利取引を最適化するための組織、更には、公正な営利取引を確保するための経済規制を分析する必要がある。本講では、企業の具体的な取引類型に即して、市場経済を支える法制度においていかなる形で法的紛争が生じ、それがいかに解決されたのか、そしていかにして紛争の発生を回避すべきかについて検討する。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力等の汎用的能力を開発することを目的とする。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：法と経済制度、分析道具としての経済学、自由競争・公正競争、自由貿易・公正貿易、正当化理由、国家安全保障、経済安全保障		
授業の趣旨	■副題 企業を取り巻く経済リスクの検討 ■授業の目的 企業活動にとって経済活動を支える法制度の知識および予想される経済的リスクに対する知識は必須である。この講義を通じて、企業がおかれている経済制度の基盤を支える法制度や市場の秩序を維持する法制度について学修するとともに、伝統的な「国家安全保障」や、現代型の「環境」、「人権問題」といった経済問題についても検討し、どのような法的枠組みで、どのように対応しているのか、そして当該問題点等について学修し、自分なりの考えを持てるようになることを目的とする。		
総合到達目標	■受講生は授業で得た知識等に役立て、企業を取り巻く経済問題についてその予防及び対処ができるようになる（第1回～15回）。 ・国家による経済取引への介入の経済的根拠とその限界について自分の言葉で説明できる。（第2回） ・法的執行手段についてその種類・方法とその問題点について自分の言葉で説明できる。（第3回） ・我が国における経済法の概要について予防的観点から説明できる。（第4～8回） ・欧米における経済法の概要について日本法との違いを意識しながら説明できる（第9回） ・国際貿易を規律するGATT・WTO体制について検討し、紛争解決の枠組みを理解し、自分の言葉で説明できる（第11回～15回）		
成績評価方法	■定期試験1回（50%）：DP2(50%) （評価の観点）選択式問題により、授業で説明された内容について、正確に理解しているかどうか確認します。 （フィードバックの方法）Google Classroomを通じて試験のポイントを解説します。 ■レポート1回（50%）：DP1:20% DP4:30% （評価の観点）レポートの内容が課題の解答様式に合っているか、参考文献、引用の表示が正しく行われているか注意して確認します。 （フィードバックの方法）Google Classroomを通じてポイントを説明します。		
履修条件	特になし。		
履修上の注意点	■出席が前提となります。 予め提示された資料をよく読んでくること。		
授業内容	回	内容	
	1	①授業テーマ ガイダンス・経済活動の基礎知識（民法・商法等と独占禁止法・金融商法等） ②授業概要 （ガイダンス）授業のテーマや内容、成績評価の方法について確認する。 （イントロダクション）企業活動を支える法制度について整理し概観する。（DP2） ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。	
	2	①授業テーマ 国家による経済活動への介入 ②授業概要 経済活動への国家による介入（政府介入）と規制緩和について概観する。（DP1・DP2）	

	③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
3	①授業テーマ 自由競争と公正競争とは何か ②授業概要 自由競争・公正競争とは、経済学を分析ツールとして学修する（DP2） ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分）
4	①授業テーマ 法の執行方法（エンフォースメント） ②授業概要 執行手段である、許認可、行政処分、行政反則金、刑事処罰（DP1・DP2） ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
5	①授業テーマ 独占禁止法の立法目的、独占岸法の基礎概念の学修（DP2・DP3） ②授業概要 独占禁止法禁止の立法目的と適用除外、基礎概念について学修する。 ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
6	①授業テーマ 不当な取引制限の法律要件・法律効果について ②授業概要 独占禁止法上最も悪性が強い不当な取引制限の法律要件・法律効果を学修し予防の観点から説明できるようになる。（DP2） ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
7	①授業テーマ 私的独占の法律要件と法律効果について ②授業概要 私的独占の法律要件・法律効果について予防の観点から説明できるようになる（DP2） ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
8	①授業テーマ 企業結合規制について ②授業概要 独占禁止法における企業結合規制について、分析の枠組み解釈基準について検討する（DP2） ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
9	①授業テーマ 不公正な取引方法と下請法・景表法 ②授業概要 独占禁止法違反行為を萌芽のうちに規制する不公正な取引方法について法律要件・法律効果を学修する（DP1・DP2）。 ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
10	①授業テーマ アメリカEUにおける経済法について ②授業概要 アメリカ・EUにおける競争法の特徴について検討する（DP1・DP2） ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
11	①授業テーマ 自由貿易体制の根幹になるGATT・WTOの誕生について（歴史） ②授業概要 現代において世界貿易の基本原則は自由貿易である。それを規律するGATTの原則について検討する（DP2） ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
12	①授業テーマ GATT基本的原則の例外について ②授業概要

	G A T T 基本原則の例外の枠組みと解釈総論（DP2） ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
13	①授業テーマ G A T T 基本原則の例外（環境）について ②授業概要 G A T T 基本原則の例外として「環境」「人権」問題がどのように検討され、どのような場合に認められるかについて検討する。 ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
14	①授業テーマ G A T T 基本原則およびの例外（国家安全保障）について ②授業概要 G A T T 基本原則の例外として「国家安全保障」問題がどのように検討され、どのような場合に認められるかについて検討する。 ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
15	①授業テーマ 「経済安全保障」と自由貿易体制について ②授業概要 「経済安全保障」の強化と自由貿易体制の調和について検討する。 ③予習（120分） Google Classroomを通じて指定された資料を読んでおく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
関連科目	「危機管理法制 1（企業・取引）（R5MR0006）」、「危機管理法制 2（企業・経済）（R5MR0008）」
教科書	授業中に指示します。
参考書・参考URL	公正取引委員会： https://www.jftc.go.jp/ 2022年度不正貿易報告書： https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/tsusho_boeki/fukusei_boeki/report_2022/honbun.html W T O： https://www.wto.org/
連絡先・オフィスアワー	連絡先 Email: nakamura.ryo@nihon-u.ac.jp オフィスアワー 初回授業において説明する。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネージメント10% パブリックセキュリティー40% グローバルセキュリティー40% 情報セキュリティー10% ■危機管理と法学のバランス 危機管理50% 法学50%

